

潮来市地域福祉・障がい者（児）・高齢者等の計画策定に関する合同会議

会議の概要

日 時 令和5年6月30日(金)
14:00～15:15
場 所 中央公民館 大ホール

1. 開会

⇒社会福祉協議会会長により開会

2. あいさつ

【市長】福祉3計画策定に関する合同会議にご出席を賜りありがとうございます。地域福祉計画については前回平成29年に策定し、今回は令和6年度から11年度までの計画をつくっていく。新型コロナウイルス感染症の影響もあったが経済も動き出してきている中で様々な弊害も出てきている。特にエネルギー料金が高騰し、食料品も値上がり、年金暮らしの方などは苦勞されている。行政だけでは手が回らないこともあり、福祉の課題は複合化・複雑化し難しい時代になっている。今後、潮来市の福祉をどうしていくのか、実態に即して計画倒れにならないよう将来どうあるべきかをしっかり皆様方のお知恵をお借りしながらつくっていきたいと考えている。

3. 代表者あいさつ

⇒潮来市議会議長を本日の合同会議の議事進行役の議長として選出。また潮来市民生委員児童委員協議会会長を副議長として選出。（異議なし）

【議長】日ごろから市議会に対してご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。昨今の少子高齢化や新型コロナウイルス感染症により、地域における人と人とのつながりが希薄化している。福祉課題や生活課題が深刻化している状況で、こうした課題に対して行政だけでなく、社会福祉協議会の取組や、民生児童委員、区長の支え合い、助け合いなどさらに高めていくことが重要になっている。今回策定する福祉3計画は、地域の宝である子どもたちをはじめ、障がい者（児）、高齢者など幅広い分野において、それぞれが住み慣れた地域で生きがいと幸せを実感できるよう策定していくことが不可欠である。福祉3計画が福祉向上のため、効果的ですのでの方にわかりやすい計画になるよう心がけていただきたい。

【民協会長】日ごろから民生委員児童委員の活動に対してご支援ありがとうございます。民生委員は73名で活動している。日ごろから地元においてたくさんの課題の解決に向けて活動している。一人一人の活動は心配だなと思う気持ちと、活動によって一安心との2つの気持ちの間で行ったり来たりしている。6月3日前川の水位が上昇し避難の連絡が入って、要支援者宅への安否確認なども行った。何事もなくよかったが、翻って、生活を取り巻く環境も激変し、支援を要求するニーズも複雑化、多様化、重複している。一人一人の困りごとは決して同じではなく、もともと複雑なものである。既存の受け皿では受け止めきれない、セーフティーネット、アウトリーチ、重層的支援、多機能連携といったものを駆使しながら多様なニーズを何とか拾っていく、誰一人取り残さない意見の集約を目指して、理解し支えて協力していきたい。

4. 議事

(1) 福祉3計画の概要等について

⇒計画の概要及び潮来市の状況について資料説明。(社会福祉課長)

潮来市福祉3計画の概要説明に入る前に、本市の福祉関連の状況について少し説明させていただければと思います。

本市の人口につきまして、令和4年4月1日時点では「27,140人」、令和5年4月1日時点での人口は「26,744人」であり、比較すると「396人」の減少となっております。

高齢者につきましては、令和4年4月1日現在で「9,226人」高齢化率として「34%」、令和5年4月1日現在で、「9,244人」高齢化率として「34.6%」となり、前年比較で「18人」、「0.4%」の上昇となっており、約3人に1人が65歳以上となっている状況にあります。

また、本市の人口の約50%が50歳以上となっている状況にあり、統計上では、令和7年度には50歳以上が「約60%」、14歳以下の人口が全体の「10%を下回る」のではないかと予想されている状況であります。

出生者数につきましては、直近の比較として令和3年度は「111人」と本市にとって一番少ない数となりましたが、令和4年度は「136名」、前年度より「25名」、「23%」多い出生数となりました。こちらは本市にとって、少し明るい見通しとなりました。今後、注視していきたいと思っております。

介護認定者数につきましては、令和4年4月1日時点で、「1,374人」であり、令和5年4月1日現在で「1,410人」となり、前年との比較で「36人」「2.6%」の増となり、高齢者人口の増に伴い、認定者数も増加傾向にあります。

また、障がい者手帳交付者につきましては、令和4年4月1日時点で「1,001人」でありましたが、令和5年4月1日時点では「969人」と、こちらは「32人」の減少となりましたが、養育手帳交付者数、精神保健福祉手帳交付者数及び特定疾患医療受給者数は、毎年、微増傾向にあります。

そのような中、本年度に社会福祉課において、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」と「障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画」や、高齢福祉課では「高齢者福祉計画、介護保険事業計画」を策定することとなりました。

それでは、令和5年度において、市民福祉部で策定を予定しております計画について説明をさせていただきます。別添の資料 潮来市福祉関連計画の策定等についてご覧ください。表の中で、黄色に染めてある部分が令和5年度におけるこれから計画の策定を予定している部分となります。

今年度、計画を策定しております、各計画につきましては、令和5年度までの策定期間となりますので、令和6年度からの新しい計画を策定するものとなります。

中央上段にあります、「第3次潮来市地域福祉計画」及び右側にあります「第3期潮来市地域福祉活動計画」また、中央下段にあります「第4次障害者福祉計画」、その下にあります「第7期障害福祉計画」と「第3期障害児福祉計画」につきましては、社会福祉課及び社会福祉協議会が主管となります。一番、左にある「高齢者福祉計画」と「介護保険事業計画」につきましては、高齢福祉課が所管となります。

これらの計画につきましては、関連性も深いこと、また、いずれの計画も計画年度が令和5年までであり、次年度以降の計画を策定していく必要があることから、一括でのプロポーザルを実施し、計画の策定についての事業者を選定し、決定させて頂いております。

続きまして、表中の中央右側にあります「第3期子ども・子育て支援計画及びこども計画」につきましては、子育て支援課が所管となります。「子ども子育て支援計画」につきましては、令和6年度までの策定期間ではありますが、新たに子ども計画の策定が必要となったことから、令和5年度・6年度の2か年計画での計画策定を進めるものとなります。こちらの計画につきましては、今後、プロポーザル等を実施し、事業者選定等を行い、計画策定を進めて参ります。

次に、1ページめくって頂きますと、1つ目として、策定計画がございます。こちらは、先ほど、ご説明させて頂きましたことを、分かりやすく表にまとめたものでございます、ご確認をお願い致します。

2つ目として、業者の選定方法がございます。公正を期するため、また、より良い計画を策定するため、公募型プロポーザルを実施し、「株式会社 まち研」を今回の計画策定の事業者とさせて頂きました。

3つ目として、これからのスケジュールとなります。策定委員の皆様にもご協力を頂く部分となります。

はじめに、今回、皆様に策定委員として、ご協力を頂く、社会福祉課、高齢福祉課関連の部分となります。表が細かくて申し訳ございませんが、本日、下から3番目の策定委員会を開催しているところです。その後、市民、事業者の方などへのアンケートや、関係団体へのヒアリングなどを行い、その結果を踏まえ、第2回の策定委員会を予定しております。

そのなかでは、アンケート等の結果を踏まえ、次期計画の策定方針の素案をお示しさせて頂きたいと考えております。第3回では、計画の原案を提示させて頂きたいと思っております。その後、市民の方へのパブリックコメントを実施し、第4回、年が明けた1月末頃を目処に最終の策定委員会を開催し、新たな計画の決定とさせて頂きたいと考えています。

(2)の子ども子育て計画につきましては、福祉部門として計画の策定を予定しておりますので、ご参考にして頂ければと思います。

3ページをご覧ください。こちらは、今回の計画策定にあたっての体制図となります。

今回の計画を策定するにあたり、策定委員の皆様を囲むように、下段には市役所庁内での組織を示させて頂いております、ワーキングチームや各課からの聴き取り、また、市民の皆様や関係機関へのヒアリングなどを実施したものを反映させながら委員の皆様にご審議を頂き、最終的には、計画策定に関する流れを分かりやすく図で示させて頂いております。このように、多くの皆様のご意見、ご協議のもと、計画策定を行うこととなります。

本日の策定委員会におきましては、委員の皆様、今年度策定を進めております、3つの計画の概要、今後のスケジュール、そして、計画を策定するにあたっての体制等というような大枠でのご説明となります。

以上で、私からの計画の概要についての説明とさせて頂きます。

この後、各担当から、各計画について説明をさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

⇒地域福祉計画等について資料説明（事務局）

⇒高齢福祉計画等について資料説明（事務局）

【議長】質問がありましたら挙手にてご意見を賜りたい。

(意見なし)

(2) アンケート等について

⇒アンケート調査について資料説明(社会福祉課)

⇒アンケート調査票について資料説明(株まち研)

【議長】質問がありましたら挙手にてご意見を賜りたい。

【A 委員】アンケートに関して非常に細やかな内容になっていると思うが、福祉はどうしてもアンケートだけでは見えないものもある。また、高齢者や障がいを持つ方は紙でもネットでも回答できない場合があると思う。その点、誰一人取り残さないといった視点からどのように考えているかお伺いしたい。

《事務局》このアンケート以外にも関係団体、事業者等へのヒアリングを予定している。また、潮来市の福祉の計画以外にも総合計画や教育振興・学校適正化計画などでもアンケートを実施しているので福祉に関するアンケート以外のものも共有していきたい。さらにアンケートの回答が難しい方への対応は、基本的にはご本人に回答をお願いするが、難しい場合はご家族の方に協力いただき回答いただく。さらに、一人暮らしや障がいのある方で回答が難しい方については、必要に応じて受託事業者(まち研)が直接家庭を訪問して聞き取り調査などを行う予定である。

【B 委員】中学生、高校生アンケートについては詳細な説明がなかったと思う。調査は市内中学生と潮来高校生になっているが潮来市在住の高校生の間違いではないのか。

《事務局》在住者ということもあるが、市民としては学校に通勤、通学している方も含めて考えている。参考として地元の潮来高校にご協力を得ながら対応を考えている。

【B 委員】ご検討いただけないか。

《事務局》この件については、ご意見を持ち帰って検討させていただきたい。

(3) その他

【A 委員】福祉3計画は、今後欠かすことができない大切な計画である。計画づくりが目的になるのではなく、その先にある市民のためになる中身のある計画を目指して欲しい。あいさつの中で市長も言っていたが計画倒れにならないようお願いしたい。また、国も異次元の少子化対策と言っているが、市においても今年度は総合計画、地域防災計画、教育振興・学校適正化計画などの策定と様々あるので、それらと矛盾が生じないようにしてほしい。

《事務局》計画だけつくって施策・事業等が伴わないものとならないようアンケートはもとより関係団体等とのヒアリングなどを行っていく中で実際に計画策定をするにあたって実行できる内容等について把握し、新たな計画の策定を進めていく。また、本市のその他計画との整合性についても、庁内ワーキングチームや策定委員など関係職員が委員として入っているので、そのよう中で調整などを図っていきたい。

【A 委員】協力いただいた方にフィードバックをお願いしたい。参加される皆さんも忙しい中で出席していただいているので、これがあったからこうなったというような進捗状況等を知らせてもらいたい。あるいはアンケートによってこうなりましたというの知らせていく必要があると思うのでお願いしたい。

《事務局》今回の福祉3計画を策定するにあたり、アンケートは約5000名に対して実施し

ていくものなので、お答えいただいた方へのお礼状配布や、その他計画の進捗等についても関係する委員などにお伝えしていきたい。また、本市の他の計画策定においても、福祉3計画の策定状況等を伝え、皆さまにもフィードバックしていきたい。

【C 委員】障がい福祉になるのか、こども計画になるのかわからないが、障がいのある子どもの兄弟、高齢者等を介護するヤングケアラーに関する実態調査も福祉計画に含まれるのか。

《事務局》今回、中高校生アンケートの中にヤングケアラーの内容を入れている。また、今後、子ども・子育て支援についても踏まえながら対応等を図っていきたい。

【B 委員】アンケートについて、自由記述は貴重である。国や県でもヤングケアラーの調査を説明して頂いたが、心に残っているので自由記載であった。数字にしてわかりやすくなることもあるが、できるだけ生の声を大切に省かないようにしてほしい。

5. その他

⇒アンケート等に関して7月5日（水）までご意見を頂戴する。調査票の印刷、準備等を進め7月下旬から8月上旬にかけてアンケートを実施予定。

6. 閉会

⇒市民福祉部長により開会

上